

まちの話題

みんなで走り、楽しさを知る

村上 弓月さん

今年の3月25日に香港で行われた

第3回アジアユース陸上競技選手権大会で、女子の部2000m障害で優勝に輝いた清水在住の村上弓月さん。今回は、村上さんに大会で優勝するまでの様子や、陸上を始めたきっかけなどを伺いました。

初めての海外の舞台

海外で競技をするのは初めてだった村上さん。他の日本人選手も初対面で、香港へ着くまでは慣れない環境が試合に影響しな



村上さん（左）と陸上部員

と心配はありませんでした。

試合のときは、「思っていたより緊張しませんでした」と話すように、落ち着いたレース展開で見事優勝。

優勝が決まったときは、「すべて信じられませんでした」が、表彰台に上がると優勝した実感が湧いてきました」と振り返ります。

走る楽しさを知った

村上さんが陸上を始めたきっかけは、中学生のときに当時所属していたバスケットボール部のメンバーで駅伝大会に出場したことだそうです。「仲間と一緒に走ったことで、走る楽しさを知りました」と笑顔で話します。

高校に入って本格的に陸上部に入った村上さんは、普段は長距離走を練習しています。今回優勝した障害の種目は、大会の出場が決まったから練習を始めたそうで、才能が伺えます。

トップ選手の姿をモチベーションに

陸上部の長距離走で同学年の女子部員は村上さん一人。

「気持ちを共有できず寂しいと感じ

ることもありました」と話しますが、他学年の女子部員と歓談したり、とても仲が良いようです。

昨年はタイムが伸びず、悩んだこともありましたが、「大学駅伝などの動画でトップ選手が走っている様子を見て、自分もこうなりたい」と思い、モチベーションを維持しています」と話します。

これからの目標

村上さんは現在、陸上部で平日の授業後と土曜日に練習をしています。高校3年生になった村上さんは、「まだインターハイに出場したことがないので、今年はインターハイに出場したいです。アジアユース陸上競技選手権で優勝した経験は、インターハイ出場につながると思います」と練習を続ける意欲を見せます。

高校を卒業した後も陸上を続け、「大学でインターカレッジに出場し、将来はトレーナーになりたいと考えています」と微笑む村上さん。

最終笑顔で話す村上さんからは、走ることが楽しいという気持ち伝わってきました。

村上さんの今後の活躍が楽しみです。

そだ 育っています! No.436



かつきくん、いつもここに笑顔がかわいいね。まだまだ甘えん坊だけど、もうすぐお兄ちゃんになるんだね。

妹が産まれたら、2人仲よくして、妹を守る強い男の子になってね。

お父さんもお母さんも、かつきくんが大好きだよ。これからも仲良し家族でいようね。



かつき 嘉月くん (1歳)

西原 嘉基さん・綾子さんの
長男